

ねらい

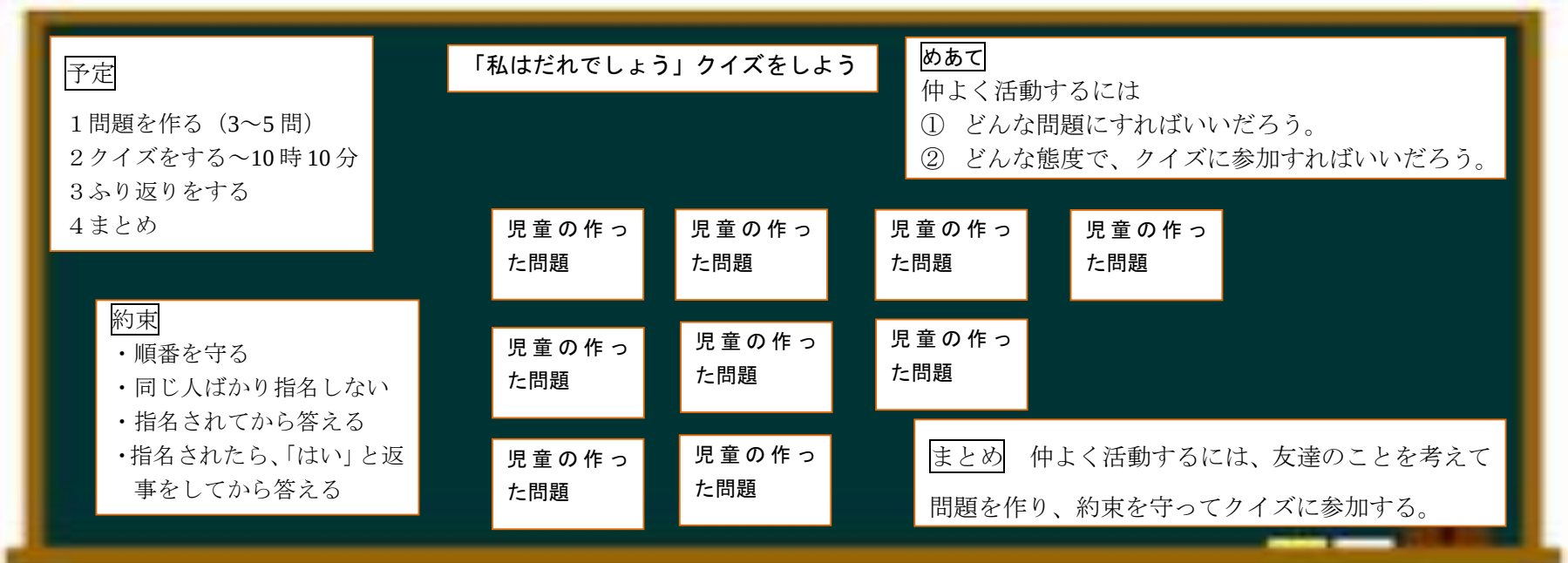
わからなかったり間違えたりしても、気持ちを切り替えながら活動しようとする態度を育てる。

身に付けさせたいこと

- ・友達が答えられるかどうかを考えて問題を作る。
- ・友達の問題や答えに対して否定的な言い方をしない。
- ・うまくいかないとき、自分で気持ちを切り替えることができる。

表れてほしい児童の意識

友達が答えられる問題を作ったり、うまくいかなくても気持ちを切り替えて参加したりすれば、楽しく活動できることを感じている。



授業の流れ

1 学習課題を把握する 5分

1 本時の学習活動と流れを確認する。

2 友達と一緒に活動するときの約束について確認する。

☆イメージを持てるよう、教師がデモンストレーションを行う。

☆これまでの活動で、「うまくいったこと」「いかなかったこと」等を出し合い、めあてを考えられるようにする。

☆自分の気持ちを客観的に確認できるよう、1時間の気持ちの変化を「気持ちの表」に記録していく。

【めあて】

仲よく活動するには、
① どんな問題にすればいいだろう。
② どんな態度で、問題を出したり答えたりしたらいいだろう。

2 個別に課題を追究する 15分

3 「私はだれでしょう」の問題を考える。

☆互いの問題が友達に見えないよう、また、集中して考えられるよう、ついたて等で仕切る。

☆机間巡視をしながら児童と一緒に検討する。
A: 「友達が答えられる問題になっているか」「分かりやすいヒントになっているか」問いながら、作成する。
B: 「友達が答えられる問題になっているか」「分かりやすい文字で書いているか」問いながら、作成する。
C: 何を問題にするか考えるのに時間がかかっているときは、図鑑や辞典などを見ながら、考えるようにする。

3 考えを発表し、全体で比較・検討する 20分

4 「私はだれでしょう」のクイズをする。

☆スムーズに進められるよう、初めにクイズの約束を確認しておく。
・順番を守る。
・同じ人ばかりを指名しない。
・指名されてから、答える。
・指名されたら、「はい」と返事をして、答える。

☆児童の様子を見ながら、必要に応じて個別に支援する。
A: 楽しくなると感情のコントロールが難しくなり、ふざけてしまいがちなので、気持ちを落ち着けられるような言葉がけをする。
B: 友達の考えに対して否定的な言葉を使うときは、どう言えばいいかを問い、適切な言葉を確認する。
C: 答えが分かっているけど、積極的な児童にゆずってしまいがちなので、Cが発言できるような働きかけをする。
☆児童が不安定になった時は、ブースの中に入るなどして、クールダウンできるようにする。

【評】

わからなかったり、間違えたりしても、最後まで落ち着いてクイズに参加している。(観察、発表)

4 学習の振り返りをし、まとめをする 10分

5 黒板に掲示した各自の問題を見ながら、どの問題が「考えやすかったか」または「わかりやすかったか」について、意見を出し合い、本時のまとめにつなげる。

6 本時の自分の気持ちの変化を振り返り、「気持ちの表」に記入する。

7 まとめをする。

☆振り返りの場面では、
A: 「どの問題が考えやすかったか」といった観点から振り返るように助言する。
B: 批判的な言葉ではなく、解決策を示す発言になるよう、あらかじめ確認しておく。
C: なかなか発言できないときは、「どの問題がよかったか」について答えたり、感想を伝えたりするようにする。

【まとめ】

仲よく活動するには、
・友達のことを考えて問題を作る。
・約束を守って、問題を出したり、答えたりする。